

政策 51 雇用環境の充実

施策 01 企業誘致の促進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
企業	企業誘致が促進され、雇用機会が創出されています。

施策の成果状況と評価

指標①	誘致企業数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【商工労政課】	社	1	1	0	→
評価	(状況) 新たな企業誘致はありませんでした。第7次総合計画開始からの累計は、3社です。なお、須賀川テクニカルリサーチガーデン既存立地企業2社と土地売買契約を締結しました。 (原因) 立地後の従業員確保に対する懸念などが要因と考えられます。						目標達成度

指標②	誘致企業による雇用数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【商工労政課】	人	11	21	0	→
評価	(状況) 新たな企業誘致がなかったため、誘致企業による雇用者もありませんでした。第7次総合計画開始からの累計は、38人です。 (原因) 新たな企業立地がなかったためです。						目標達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 新規企業の立地促進

基本事項 02 先進医療・再生可能エネルギー関連産業の誘致

基本事項01 新規企業の立地促進

指標 ①	マッチングによる誘致企業数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【商工労政課】	社	1	0	0	→
評 価	<p>(状況) マッチングによる企業誘致はありませんでした。第7次総合計画開始からの累計は、1社です。 (原因) マッチングの状況については、福島県工業開発条例に基づく「工場設置届出」の際の聞き取りにより確認していますが、今年度は新設に係る工場設置届出がありませんでした。</p>						(横ばい)
		目標達成度	---				

基本事項02 先進医療・再生可能エネルギー関連産業の誘致

指標 ①	先進医療・再生可能エネルギー関連誘致企業数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【商工労政課】	社	0	0	0	→
評 価	<p>(状況) 先進医療・再生可能エネルギー関連企業の誘致はありませんでした。第7次総合計画開始からの累計は、1社です。 (原因) 医療関連・再生可能エネルギー関連企業に対して、立地意向調査に基づく企業訪問をはじめ、都内での市企業立地セミナーの開催や産業展示会への出展などを行い、企業誘致を図っていますが、立地はありませんでした。</p>						(低下)
		目標達成度	---				

政策 51 雇用環境の充実

施策 02 雇用の維持と確保

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
勤労者・求職者（市民）	勤労者が継続的に雇用され、求職者の雇用が維持・確保されています。

施策の成果状況と評価

指標①	ハローワーク須賀川管内の月間有効求人倍率（年平均）	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【商工労政課】	倍	1.02	1.07	1.18	→
評価	<p>（状況）平成29年度の有効求人倍率は1.18倍となっており、平成25年度以降は1倍を超え、目標値である0.85を上回っています。平成29年度県全体の有効求人倍率は1.47であり、当管内は若干低くなっています。</p> <p>（原因）全国的に人手不足状態となっており、医療・福祉職員のほかサービス業などでも求人が増えているため、有効求人倍率が上昇していると考えられます。</p>						☀ (向上)
		目標達成度	☑ (達成)				

指標②	ハローワーク須賀川管内の月間有効求職者数（年平均）	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【商工労政課】	人	2,156	2,091	2,088	→
評価	<p>（状況）月間有効求職者数は近年2,000人前後で推移していますが、平成29年度は2,088人であり、前年度と比較し横ばいです。</p> <p>（原因）社会経済情勢の変化に伴う企業の規模縮小などにより、求職者は年度ごとに変動します。最近の傾向としては、在職中に求職票を出す人が増加しています。</p>						目標達成度

指標③	ハローワーク須賀川管内の就職率（年平均）	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【商工労政課】	%	44.0	40.1	41.4	→
評価	<p>（状況）ハローワーク須賀川管内の就職率は41.4%です。就職率は、年度ごとに多少の増減はありますが、概ね40%台で推移しています。</p> <p>（原因）就職率は、企業の経営状況などに大きく左右されるため、これらが影響していると考えられます。また、月間有効求人倍率が1倍を上回っており、求人数も減少していない状況の中で就職率が低い要因は、雇用のミスマッチと考えられます。</p>						目標達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 中高年齢者・障がい者などの雇用促進

基本事項 02 若年労働者・中途就職希望者の就業支援

基本事項01 中高年齢者・障がい者などの雇用促進

指標①	ハローワーク須賀川管内の中高年齢者の就職件数（年間）	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【商工労政課】	件	1,010	954	947	→	☂ (低下)
評価	<p>(状況) ハローワーク須賀川管内の中高年齢者の就職件数は947件で、前年度と比較し7件減少しています。年度ごとに増減はありますが、概ね950件から1,000件程度で推移しています。</p> <p>(原因) 就職件数は、経済・雇用情勢などに大きく左右されますが、平成29年度は全年齢層で件数が減少しており、これらが影響していると考えられます。また、求人件数は増加しているので、雇用のミスマッチも要因の一つであると考えられます。</p>						目標達成度

基本事項01 中高年齢者・障がい者などの雇用促進

指標②	ハローワーク須賀川管内の障害者雇用率（6月現在）	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【商工労政課】	%	2.24	1.90	1.83	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) ハローワーク須賀川管内の障害者雇用率は1.83%で、前年度と比較し0.07ポイント減少したものの基準値は大きく上回っています。</p> <p>(原因) 近年、国が障害者雇用促進法を改正し、障害のある人の雇用対策を総合的に推進しており、企業の理解等も進んでいるためと考えられます。</p>						目標達成度

基本事項02 若年労働者・中途就職希望者の就業支援

指標①	ハローワーク須賀川管内の若年者の就職件数（年間）	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【商工労政課】	件	1,927	1,740	1,649	→	☂ (低下)
評価	<p>(状況) ハローワーク須賀川管内の若年者の就職件数（年間）は、1,649件で、前年度と比較し91件減少しています。この件数は一般求職者であり、新規学卒者は含まれておらず、平成26年度以降減少傾向にあります。</p> <p>(原因) 就職件数は、経済・雇用情勢などに大きく左右されますが、平成29年度は全年齢層で件数が減少しており、これらが影響していると考えられます。また、求人件数は増加しているので、雇用のミスマッチも要因の一つであると考えられます。</p>						目標達成度

政策 51 雇用環境の充実

施策 03 労働者福祉の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
勤労者（市民）	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の理念に基づき、勤労者が生きがいをもち、安心して働くことができる労働環境が実現しています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	ワーク・ライフ・バランスを保つための施策を実施している企業の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【商工労政課】	%	23.5	24.7	25.3	→
評価	<p>（状況）ワーク・ライフ・バランスを保つための施策を実施している企業の割合は、25.3%です。平成27年度は48社、平成28年度は56社、平成29年度は50社と、完全週休2日制度、年次有給休暇制度、育児休業制度のすべてを実施している企業は年々、増加傾向ではありますが、高い水準とはなっていません。</p> <p>（原因）年次有給休暇及び育児休業制度は多くの事業所で導入していますが、市内企業の多くは中小企業であり、取引先企業との需給関係や社会経済情勢等により影響を受けやすいことが、完全週休2日制導入が進まない要因の一つと考えられます。</p>						(横ばい)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 労働条件の改善

基本事項 02 勤労者福利厚生の充実

基本事項01 労働条件の改善

指標①	年次有給休暇制度実施事業所割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【商工労政課】	%	90.7	91.6	94.4	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 年次有給休暇制度実施事業所割合は94.4%で、平成24年度基準値を大きく上回り、過去3年間は90%台で推移しています。 (原因) 年次有給休暇の付与は、ほとんどの事業所で実施していると考えられます。</p>						目標達成度

基本事項01 労働条件の改善

指標②	育児休業制度の有無の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【商工労政課】	%	81.9	77.5	86.9	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 育児休業制度実施事業所の割合は86.9%で、平成24年度基準値を大きく上回っています。 (原因) 市内企業の多くは中小企業であり、家族経営や従業員の高齢化などにより育児休業制度対象者がいないなどの要因はあるものの、育児休業制度は法律で定められており、制度の趣旨が徐々に浸透してきていることや近年の女性活躍機運の盛り上がりなどが要因として考えられます。</p>						目標達成度

基本事項02 勤労者福利厚生 of 充実

指標①	市勤労者互助会会員数 (年度末)	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【商工労政課】	人	180	221	231	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 市勤労者互助会会員数は231人となり、平成24年度以降年々増加傾向にあり、目標値を上回っています。 (原因) 市広報紙やホームページなどで周知を図っており、徐々に認知されてきたことや会社単位での加入があったためと考えられます。</p>						目標達成度
		☑ (達成)					

基本事項02 勤労者福利厚生 of 充実

指標②	週休2日制度実施割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【商工労政課】	%	33.3	28.2	36.7	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 完全週休2日制度を実施している事業所の割合は36.7%です。平成24年度基準値21.6%と比較すると上昇傾向にあります。しかし、年次有給休暇制度や育児休業制度に比べると実施割合はかなり低くなっています。 (原因) 市内企業の多くは中小企業であり、取引先企業との需給関係や社会経済情勢等により影響を受けやすいことが要因の一つとして考えられます。</p>						目標達成度

政策 52 農林業の振興

施策 01 農林業生産環境の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
農業者	持続的発展のために、耕作が継続され、効率的な農業経営が推進できます。

施策の成果状況と評価

指標	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標① 耕作面積 【農政課】	ha	8,280	8,326	8,261		☁ (横ばい)
評価 (状況) 耕作面積は8,261haで、前年度と比較し65ha減少していますが、ほぼ横ばいです。 (原因) 農業従事者の高齢化や減少による担い手不足等農業を取り巻く現状を反映して、耕作放棄地が22ha増加したほか、農地面積が農地転用等により10ha、農地台帳整備により33ha減少したことが、耕作面積減少の要因です。なお、農地台帳整備による減少面積は、固定資産データとの突合結果により、非農地と判断されたものです。一方で、平成29年度の耕作放棄地は537haであり、平成24年度の576haと比較すると39ha減少しており、耕作放棄地再生利用推進に取り組むことにより、耕作面積の維持を図っています。					---	
指標② 一戸当たりの農業所得 【農政課】	円	169,524	562,529	565,649	➔	☀ (向上)
評価 (状況) 一戸当たりの農業所得額は565,649円で、前年度と比較し3,120円増加であり、ほぼ横ばいです。しかし、平成24年度基準値と比較すると2倍以上となっており、順調に推移しています。(平成29年度の農業所得額は、平成28年の収入額から算出しています。) (原因) 本市農業は水稲が中心であるため、米価が農業所得額へ大きな影響を及ぼしますが、平成28年産米価は1俵あたり13,838円となり、26年産の米価下落から回復傾向にあるため、農業所得額は一定の水準を維持していると考えられます。(米価は、農林水産省公表の年度末の中通り産米相対取引価格)					---	

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 多様な担い手の育成・確保
基本事項 02 農林業生産基盤等の整備
基本事項 03 農業生産施設等の整備
基本事項 04 農業経営の安定確保

基本事項01 多様な担い手の育成・確保

指標①	認定農業者数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【農政課】	人	360	374	376	→	☀ (向上)
評価	(状況) 認定農業者数は376人で、前年度と比較し2人増加しましたが、横ばいです。なお、平成24年度基準値からは大幅に増加しています。 (原因) 国・県の各種施策は、認定農業者を対象要件とする農業担い手を重視したものに転換しており、各種制度を活用するために、認定農業者は増加傾向にあります。一方で、高齢化や認定メリットを感じないことを理由に、認定を更新しなかったケースがあったため、微増となりました。					目標達成度	---

基本事項01 多様な担い手の育成・確保

指標②	担い手への農地利用集積面積	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【農政課】	ha	1,789.1	1,864.8	3,064.9	→	☀ (向上)
評価	(状況) 担い手への農地利用集積面積は3,064.9haであり、前年度と比較し1,200.1ha増加しましたが、大部分は調査方法の変更によるものです。なお、平成29年度の農地売買と貸借の面積は95.6haであり、前年度の75.7haと比較し19.9ha増加しており、順調に農業担い手への農地の集積が進んでいます。 (原因) 農地利用集積面積は、国の調査における担い手の経営面積の合計としていますが、国の指導により対象者の抽出方法を変更したことから、対象者が増加し、面積が大幅に増加しました。また、農地売買と貸借の面積増加の要因は、農業従事者の高齢化による離農や担い手の規模拡大意欲の向上によるものと考えられます。					目標達成度	---

基本事項02 農林業生産基盤等の整備

指標①	用排水路整備・改修延長 (行政区実施分+市実施分)	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【農政課】	km	1.74	2.48	1.75	→	☂ (低下)
評価	(状況) 用排水路の整備・改修延長は1.75kmと、前年度と比較し0.73km減少しています。1.75kmの内訳は行政区実施分が1.58km、市実施分が0.17kmと主に行政区が実施しています。なお、主な整備内容については、土側溝へのU字側溝の布設であり、近年は2.0km前後で推移しています。 (原因) 前年度と比較して、用排水路の整備が減少しているのは、市単独補助事業による行政区実施分が減少したことによるものです。					目標達成度	---

基本事項02 農林業生産基盤等の整備

指標②	耕作放棄地面積	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【農政課】	ha	548	515	537	→	☀ (向上)
評価	(状況) 耕作放棄地面積は537haで、前年度と比較し22ha増加しました。また、市内の農地面積に占める割合は6.1%となっており、増加しています。 (原因) これまでは減少傾向にありましたが、平成29年度は、小塩江、大東、長沼などの各地域で、農業従事者の高齢化や担い手不足などを理由に、条件が悪く、受け手が見つからないほ場が耕作放棄地になったと考えられます。					目標達成度	---

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 多様な担い手の育成・確保
- 基本事項 02 農林業生産基盤等の整備
- 基本事項 03 農業生産施設等の整備
- 基本事項 04 農業経営の安定確保

基本事項02 農林業生産基盤等の整備

指標 ③	農林道整備・改修延長（行政区実施分+市実施分）	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【農政課】	km	2.60	3.04	2.37	➔	☂ (低下)
評 価	<p>(状況) 農林道整備・改修延長は2.37kmで、前年度と比較し0.67km減少しています。内訳は行政区実施分が1.56km、市実施分が0.81kmと行政区が多く実施しています。なお、主な整備内容については、未舗装の農林道の舗装です。</p> <p>(原因) 前年度と比較して、農道整備延長が減少しているのは、市単独補助事業による行政区実施分が減少したことによるものです。</p>	(km)					☂ (低下)
							目 標 達成度

基本事項02 農林業生産基盤等の整備

指標 ④	基盤（ほ場）整備率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【農政課】	%	42.3	42.3	49.2	➔	☀ (向上)
評 価	<p>(状況) 前田川地区でのほ場整備事業の面整備が進んだため、基盤整備率が49.2%と、前年度と比較し6.9ポイント増加しています。なお、平成30年度からは森宿地区において、ほ場整備事業の面整備を行っていきます。</p> <p>(原因) 前田川地区で進めているほ場整備事業の面整備が進捗したため、基盤整備率が向上しました。次年度からは森宿地区の面整備が始まることから、さらに整備率が向上すると考えられます。</p>	(%)					☀ (向上)
							目 標 達成度

基本事項03 農業生産施設等の整備

指標 ①	各種補助により生産施設を整備した件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【農政課】	件	3	5	3		☁ (横ばい)
評 価	<p>(状況) 各種補助により生産施設を整備した件数は3件で、前年度と比較し2件減少しています。なお、平成24年度基準値4件と比較すると、ほぼ横ばいです。</p> <p>(原因) 平成29年度は、県の補助事業によるキュウリのパイプハウス施設3件のみの導入となったためです。</p>	(件)					☁ (横ばい)
							目 標 達成度

基本事項04 農業経営の安定確保

指標 ①	有害鳥獣被害件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【農政課】	件	7	8	16	➔	☂ (低下)
評 価	<p>(状況) 有害鳥獣被害件数は16件で、前年度の8件と比較し8件の増、被害農地面積は656aで、前年度と比較し559a増加し、被害が拡大しています。被害件数16件のうち15件がイノシシによる被害、1件がスズメによる被害であり、大多数がイノシシによる被害です。また、イノシシ被害は市の西部である岩瀬と長沼地域において、14件と多くなっています。</p> <p>(原因) 特に市の西部で被害が多い原因は、近隣の市町村で大規模な電気柵対策を行った結果、本市ヘイノシシが逃げ込んでしていると推測されます。</p>	(件)					☂ (低下)
							目 標 達成度

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 多様な担い手の育成・確保
- 基本事項 02 農林業生産基盤等の整備
- 基本事項 03 農業生産施設等の整備
- 基本事項 04 農業経営の安定確保

基本事項04 農業経営の安定確保

	経営所得安定への補償・補てんメニュー数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき														
指標②	【農政課】	メニュー	7	7	7																
評価	<p>(状況) 経営所得安定への補償・補てんメニュー数は前年度と変更はなく、同数です。なお、これらのメニューを活用した農業者は延べ1,218人であり、市内農家3,341戸(27年農林業センサス)の約3分の1が活用しています。</p> <p>(原因) 平成29年度は、国の農業政策に大きな変更がなかったことから、メニュー数に変更はありませんでした。国の政策転換に対応した見直しを検討する必要がありますが、今後は、利子助成メニューが徐々に終了するため、メニュー数は減少する見通しです。</p>	<p>(メニュー)</p> <table border="1" style="display: none; margin-top: 5px;"> <caption>メニュー数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>メニュー数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>8</td></tr> <tr><td>H25</td><td>7</td></tr> <tr><td>H26</td><td>7</td></tr> <tr><td>H27</td><td>7</td></tr> <tr><td>H28</td><td>7</td></tr> <tr><td>H29</td><td>7</td></tr> </tbody> </table>					年度	メニュー数	H24	8	H25	7	H26	7	H27	7	H28	7	H29	7	<p>---</p> <p>目標達成度</p> <p>---</p>
年度	メニュー数																				
H24	8																				
H25	7																				
H26	7																				
H27	7																				
H28	7																				
H29	7																				

政策 52 農林業の振興

施策 02 地域特産品の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民(農業者、消費者)	市産農産物等の安全性が広く認知され、農産物等の生産が拡大されています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市産農産物等の売上額 (JA)	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき																					
		【農政課】	千円	4,337,958	4,453,425	4,829,173		→																				
評価	<p>(状況) 市産農産物等の売上額 (JA) は、4,829,173千円で、内訳は米穀2,057,655千円、園芸2,380,602千円、畜産390,916千円です。平成29年度は目標値を大幅に上回っており、順調に推移しています。米穀関係の販売額は、収穫量や前年産米の在庫状況により販売単価が変動しますが、前年度の1,685,943千円より371,712千円増加しました。また、園芸は前年度2,368,058千円より12,544千円増加し、畜産は前年度と比較しほぼ横ばいであるため、一定水準が維持されていると考えられます。</p> <p>(原因) 風評被害に対する安全・安心のPRにより消費者の理解が得られてきたと考えられます。</p>	<p>(千円)</p> <table border="1"> <caption>市産農産物等の売上額 (千円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>4,150,000</td> <td>4,150,000</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>4,350,000</td> <td>4,250,000</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>4,850,000</td> <td>4,350,000</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>4,350,000</td> <td>4,400,000</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>4,450,000</td> <td>4,450,000</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>4,829,173</td> <td>4,450,000</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値	目標値	H24	4,150,000	4,150,000	H25	4,350,000	4,250,000	H26	4,850,000	4,350,000	H27	4,350,000	4,400,000	H28	4,450,000	4,450,000	H29	4,829,173	4,450,000	☀ (向上)
		年度	実績値	目標値																								
H24	4,150,000	4,150,000																										
H25	4,350,000	4,250,000																										
H26	4,850,000	4,350,000																										
H27	4,350,000	4,400,000																										
H28	4,450,000	4,450,000																										
H29	4,829,173	4,450,000																										
							🏰 (達成)																					

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 農産物の生産振興
基本事項 02 消費拡大と販売強化
基本事項 03 安全・安心な農産物の提供

基本事項01 農産物の生産振興

指標①	市場評価が高い農林畜産物の出荷量（きゅうり、日本梨）	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【農政課】	t	6,554.6	6,576.0	6,587.1	→	☂ (低下)
評価	<p>(状況) JAへの出荷量は、きゅうりが平成24年基準値6,527.0tとの比較で1,156.8t減少し5,370.2t、日本梨が基準値881.9tとの比較で335.0t増加し1,216.9t、合計では821.8t減少し6,587.1tであり、減少しています。しかし、前年と比べると全体で11.1t増加しています。市全体の農家戸数、作付面積は横ばいのため、市全体の出荷状況は横ばいと考えられます。</p> <p>(原因) きゅうりは、高齢化による農家戸数、作付面積の減少に伴い生産量及び出荷量も減少したと考えられます。日本梨は、原発事故の風評被害により直売からJAへの出荷に切り替えた農家が増加したことから、JA出荷量が増加したと考えられます。</p>						目標達成度
		---	---				

基本事項02 消費拡大と販売強化

指標①	県外等における農産物PR物産展の売上額	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【農政課】	円	5,319,636	3,644,551	4,162,918	→	☂ (低下)
評価	<p>(状況) 県外等における農産物PR物産展の売上額は4,162,918円で、前年度と比較し518,367円増加していますが、平成24年度基準値よりは若干減少しています。</p> <p>(原因) 農産物PRができる物産展の実施日数が、前年度と比較し4回増加したことが主な要因であると考えます。なお、平成24年度基準値からは585,522円減少していますが、主な要因として大都市圏（東京都、大阪府）での農産物PRができる物産展が減少したことによるものです。</p>						目標達成度
		---	---				

基本事項02 消費拡大と販売強化

指標②	はたけんぼの売上額	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【農政課】	千円	1,088,960	1,117,349	1,367,622	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) はたけんぼの売上額は1,367,622千円で、平成24年度基準値962,102千円と比較し405,520千円、前年度と比較し250,273千円増加しています。震災直後は出荷制限や地元農産物に不安を持つ市民の買い控え等が見られましたが、順調に推移しています。</p> <p>(原因) 自主検査施設の設置や検査結果の公表など、安全・安心の取組が進み、地元農産物の安全性に対する消費者の理解が進んだことと、はたけんぼが購買意欲を喚起するイベントによる情報発信などの取組を積極的に展開したことによるものと考えられます。</p>						目標達成度
		---	---				

基本事項03 安全・安心な農産物の提供

指標①	放射性物質濃度検査における基準値を超えた検体の占める率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【農政課】	%	0.98	1.07	0.53	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 放射性物質濃度検査における基準値を超えた検体の占める率は0.53%で、平成24年度基準値3.37%と比較すると2.84ポイント減少し、前年度との比較でも0.54ポイント減少しています。また、基準値を超えた検体においても、平成24年度基準値の608件から44件まで減少しており、基準値を超える検体数が減少傾向にあり順調に推移しています。</p> <p>(原因) 原発事故から6年経過し、安全が確認されている検体が増えたことが主な要因です。</p>						目標達成度
		---	---				

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 農産物の生産振興
- 基本事項 02 消費拡大と販売強化
- 基本事項 03 安全・安心な農産物の提供

基本事項03 安全・安心な農産物の提供

		単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき														
指標 ②	米の全袋検査で25Bq/kgを超えた袋数 <div style="text-align: right;">【農政課】</div>	袋	7	9	2	→	☀ (向上)														
評 価	(状況) 米の全袋検査で25Bq/kgを超えた袋数は2袋で、前年度と比較し7袋減少しました。平成29年度検査総数に占める割合は0.0002%となっており、市内で生産された米の安全性が確保されています。 なお、25Bq/kgを超えた2袋は、すべて50Bq/kg未満であり、厚生労働省が定める一般食品の基準値100Bq/kgを下回っています。 (原因) 塩化カリ肥料の配付及び農業者に対する周知啓発活動など放射性物質の吸収抑制対策の成果が表れているものと考えられます。	(袋) <table border="1" style="display: none; margin-top: 5px;"> <caption>米の全袋検査で25Bq/kgを超えた袋数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>袋数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>2,100</td></tr> <tr><td>H25</td><td>7</td></tr> <tr><td>H26</td><td>9</td></tr> <tr><td>H27</td><td>2</td></tr> <tr><td>H28</td><td>2</td></tr> <tr><td>H29</td><td>2</td></tr> </tbody> </table>					年度	袋数	H24	2,100	H25	7	H26	9	H27	2	H28	2	H29	2	目標 達成度 ---
年度	袋数																				
H24	2,100																				
H25	7																				
H26	9																				
H27	2																				
H28	2																				
H29	2																				